

**令和３年度千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会
第１回農政部会 議事録**

１ 日時：令和３年８月１７日（火） 午後２時４５分～午後５時２８分

２ 場所：富田都市農業交流センター 第３研修室

３ 出席者：

（１）委員

鈴木敦子委員、岡本博江委員、鈴木雅之委員、白熊一郎委員、西田直海委員

（２）事務局

表谷農政部長、渡部農政課長、中坂課長補佐、柴田主査、豊田主任技師、
坂倉主任主事

中田農業経営支援課長補佐

４ 議題：

（１）部会長及び副部会長の選任について

（２）中田やつ耕園（千葉市中田都市農業交流センター）における指定管理者年度
評価に関する事項について

（３）富田さとにわ耕園（千葉市富田都市農業交流センター）における指定管理者
年度評価及び総合評価に関する事項について

（４）下田農業ふれあい館（千葉市下田都市農業交流センター）における指定管理
者年度評価に関する事項について

（５）千葉市ふるさと農園における指定管理者年度評価に関する事項について

（６）非公募の方法による指定管理予定候補者の選定等に係る会議の非公開につい
て

５ 議事の概要：

（１）部会長及び副部会長の選任について

委員の互選により、鈴木雅之委員を部会長に、岡本委員を副部会長に選任し
た。

（２）中田やつ耕園（千葉市中田都市農業交流センター）における指定管理者年度
評価に関する事項について

中田やつ耕園（千葉市中田都市農業交流センター）の年度評価について事務
局から説明し、その後質疑応答を行い、委員会としての意見を取りまとめ、決
定した。

（３）富田さとにわ耕園（千葉市富田都市農業交流センター）における指定管理者
年度評価及び総合評価に関する事項について

富田さとにわ耕園（千葉市富田都市農業交流センター）の年度評価及び総合

評価について事務局から説明し、その後質疑応答を行い、委員会としての意見を取りまとめ、決定した。

- (4) 下田農業ふれあい館（千葉市下田都市農業交流センター）における指定管理者年度評価に関する事項について

下田農業ふれあい館（千葉市下田都市農業交流センター）の年度評価について事務局から説明し、その後質疑応答を行い、委員会としての意見を取りまとめ、決定した。

- (5) 千葉市ふるさと農園における指定管理者年度評価に関する事項について

千葉市ふるさと農園の年度評価について事務局から説明し、その後質疑応答を行い、委員会としての意見を取りまとめ、決定した。

- (6) 非公募の方法による指定管理予定候補者の選定等に係る会議の非公開について

事務局から説明し、その後質疑応答を行い、第2回千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会農政部会を非公開とすることを決定した。

6 会議経過：

【農政課長補佐】 こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただき、また、施設見学会にも御参加いただきありがとうございます。

定刻を少し過ぎてしまいましたけれども、ただいまより、令和3年度第1回千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会農政部会を開催いたします。

私は本日の司会を務めさせていただきます、農政課長補佐の中坂と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、会議の成立について御報告いたします。本日の出席委員は、総数5名中5名でございますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例、第10条第2項により、会議は成立しております。

次に、会議の公開及び議事録の作成についてですが、本日の会議は、千葉市情報公開条例第25条に基づき、公開されております。なお、一部非公開の部分がございますので、あらかじめ御承知おきください。なお、現在までに傍聴の申込みはございませんでしたので、御報告いたします。

また、議事録についてはお手元の参考資料2、「千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」を御覧ください。2、議事録の確定の(1)のとおり、事務局案に対する部会長の承認により確定することとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、開催に当たりまして、農政部長の表谷より御挨拶申し上げます。

【農政部長】 皆様、こんにちは。農政部長の表谷と申します。本日はよろしくお願いいたします。

本日は、雨もぱらつく中で、皆様に各施設を御見学いただきまして、誠にありがとうございました。昨年に続きまして、今回は新型コロナウイルスが去年より、よりひどくなっているような状況ではある中ではあるんですけども、本日は富田さんとわ耕園まで

足を運んでいただきまして、誠にありがとうございます。本日は換気ですとか、あとアルコール消毒等の対策を徹底して開催いたしますので、何とぞ御了承いただければと思います。

本日、御評価いただく農政関係4施設につきましては、新型コロナウイルスの影響を受けまして、昨年度も同様の状況ではありましたが、厳しい状況の下、運営を行っているという状況になります。一方で、市民農園ですとか直売所のほうでは、市民の皆様の利用が増えているという状況もございますので、そういったところも踏まえながら、本日、御報告をさせていただければと思います。

委員の皆様の専門的な御知見も踏まえながら、本当に様々な課題もあると思いますので、ぜひ忌憚のない御意見をいただければ大変光栄でございます。

どうぞ今日はよろしくお願いいたします。簡単ではありますが、御挨拶とさせていただきます。

【農政課長補佐】 ありがとうございます。次に、委員の皆様の御紹介させていただくところですが、コロナ禍における会議時間の短縮を図るため、席次表の配付に代えさせていただきます。御了承のほど、よろしくお願いいたします。

あと、随時、前面の白いプロジェクターを映します。飛沫防止フィルムで乱反射して非常に見にくい状態になっていきますけれども、投影するときは隙間からか、もしくは立ち上がってもらえれば見えるかと思っております。この点も御了解ください。

それでは、議事に入らせていただきます。なお、部会長選任までの間、私のほうで進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

ただいまから令和3年度第1回千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会農政部会を開催いたします。

初めに、議題1、部会長及び副部会長の選任についてです。部会長及び副部会長につきましては、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第4項に基づき、委員の皆様の互選により決定したいと存じます。委員の皆様、いかがいたしましょうか。

【委員】 私のほうから御推薦申し上げたいと存じます。

これまで選定評価委員会の会長及び副会長に部会長と副会長をお引き受けいただいていたので、今回も同様に、会長である鈴木雅之委員に部会長を、それから副会長である岡本委員に副部会長を御推薦申し上げます。

【農政課長補佐】 ありがとうございます。委員より、部会長に鈴木雅之委員様を、副部会長に岡本博江委員様をとという御発言がありましたが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【農政課長補佐】 ありがとうございます。つきましては、鈴木雅之委員様に部会長を、岡本委員様に副部会長をお願いしたいと存じます。

では、鈴木雅之委員様、すみませんが、部会長席に移っていただけますでしょうか。

御準備ができましたら、ここからの議事は鈴木部会長に進行をお願いいたします。

【部会長】 ただいま部会長に就任させていただきました鈴木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私ども常任委員は3名とも新任で、臨時委員のお二方はこれまでも経験されてきたということで、我々もやっと2回目で慣れてはきているところですけど、まだ分からない面もありますし、これまでの御経験から臨時委員の方々には、ぜひ多大な御協力をいただければと思います。

それでは、会議を進めてまいります。議題に入る前に、本日の議事の流れにつきまして、事務局のほうから説明をお願いいたします。

【農政課長補佐】 それでは、これからの議事の流れについて御説明いたします。

本日は、次第にある議題にありますとおり、1、部会長及び副部会長の選任について、その後続く、2、中田やつ耕園の年度評価、3、富田さとにわ耕園の年度評価と総合評価、4、下田農業ふれあい館の年度評価、5、千葉市ふるさと農園の年度評価、6、非公募の方法による指定管理予定候補者の選定等に係る会議の非公開の議題2から議題6の5つの議題について御審議をお願いいたします。

まず、中田やつ耕園と富田さとにわ耕園をまとめて御審議いただきます。休憩時間を挟んだ後、下田農業ふれあい館と千葉市ふるさと農園をまとめて御審議いただき、最後に議題6の第2回農政部会の会議の公開について決定いただき、終了となります。

年度評価の流れは、まず、施設の所管課である農政課長より、令和2年度の施設の評価について御説明いたします。次に、委員の皆様から質疑応答とともに管理運営状況の評価、改善を要する点、評価する点などの御意見等をいただきます。なお、評価シートに記載されております委員会の意見等については、委員会の意見を踏まえ、御修正をいただくことが可能でございます。机の上に置いております意見（案）について御協議いただき、最終的に部会の意見として決定していただきます。

富田さとにわ耕園（富田都市農業交流センター）のみ、総合評価についても御審議いただきます。事務局からの年度評価の説明に続いて、現指定期間の総合評価についても御説明いたします。総合評価においても、委員の皆様からの質疑応答とともに、次期指定管理者の選定等に活用するため、現指定管理者の管理業務を総括するとともに、サービス向上に向けた取組等について御意見をいただきます。なお、総合評価につきましても、机の上に置いております委員会の評価については、皆様委員の委員会の意見を踏まえ、御修正いただくことが可能でございます。

本日の会議の終了時刻は17時20分頃を目安とさせていただきます。

説明は以上でございます。

【部会長】 ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、何か御質問、御意見ありましたらお願いいたします。特にないようですので、議題のほうに入ってまいります。

議題の2です。中田やつ耕園の年度評価に関する事項についてに入っていきます。事務局より簡略に御説明をお願いいたします。

【農政課長】 農政課長の渡部と申します。座って説明をさせていただきます。

それでは、中田やつ耕園について御説明いたします。

まず、資料のインデックス、中田1を御覧ください。令和2年度指定管理者年度評価シートをお願いいたします。

まず、1、公の施設の基本情報ですが、愛称は中田やつ耕園で、正式名称は千葉市中田都市農業交流センターです。条例上の設置目的は、都市部と農村部の交流を図るとともに、農業を振興することにより、地域の活性化に寄与することを目的としています。ビジョン、ミッション、制度導入により見込まれる効果については記載のとおりです。次に、成果指標は利用者数と市民農園契約区画数であり、数値目標は利用者数が年間1万5,000人、契約区画数は318区画です。

2、指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名は中田市民農園管理運営組合です。指定期間は令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間です。選定方法は非公募です。非公募の理由は記載のとおりです。次に、管理運営費の財源は、指定管理料及び市民農園の利用料金収入です。

3、管理運営の成果・実績でございますが、令和2年度の利用者数は1万4,939人で達成率は99.6%、市民農園の契約区画数は306区画で達成率96.2%でございます。

次に、2ページをお願いいたします。4、収入状況は令和2年度の実績額のみ御説明いたします。(1) 必須業務収支状況ですが、ア、収入は指定管理料1,448万円、利用料金収入420万2,000円、その他収入79万7,000円、合計といたしまして、1,947万9,000円でございます。イの支出ですが、人件費が633万5,000円、事務費425万2,000円、管理費882万1,000円、合計で1,940万8,000円でございます。実績額と計画額の差異の要因についてですが、人件費の減は勤務体制を見直したため、事務費の増加要因は消耗品費の増加によります。管理費につきましては、植栽・園内維持管理費が増加となったものでございます。

続いて、3ページをお願いします。自主事業の収支状況ですが、ア、収入は自主事業収入156万3,000円、その他収入はゼロ、合計は156万3,000円でございます。イの支出は人件費が25万8,000円、事務費が10万円、事業費が68万5,000円で、合計で104万3,000円でございます。令和元年度に比べ、自主事業の収入が増となっており、その理由としまして、コロナ禍の中で屋外で行われる収穫体験が比較的好評だったことが要因と考えられます。(3)の収支状況ですが、必須業務と自主事業を合わせた総収入は2,104万2,000円、総支出は2,045万1,000円、収支として59万1,000円の黒字となっております。

5の管理運営状況の評価の1から3は、後ほど御説明をいたします。

続いて、4ページをお願いいたします。一番下の段、(4)経済農政局指定管理者選定評価委員会での意見を踏まえた対応でございます。左側の昨年度、「おおむね事業計画どおりの事業運営が行われている。区画契約数が昨年度より減少し、目標達成を下回る結果となったが、コロナ禍の中で市民農園の関心が高まっていることを生かし、今後も施設利用者の継続や新規利用者の獲得のため、個人だけではなく、法人もターゲットにしたさらなる施設のPRを行い、契約区画数の増に努められたい」との意見をいただきましたので、ホームページや市政だよりの掲載、チラシの配布などにより、積極的に施設のPR強化を実施したことにより、市民農園契約区画数の増加につながりました。増加の状態は、後ほど改めて御説明をいたします。

続いて、5ページをお願いいたします。6、利用者ニーズ・満足度等の把握につきましては記載のとおりでありまして、アンケート調査では499件の回答をいただき、利用者

より、おおむね好評をいただいている状況でございます。

次に、先ほど飛ばしました、3ページから4ページの管理運営状況の評価の1から3について御説明いたします。こちらはインデックス中田2のA3の紙で御説明させていただきます。A3の1ページ、下部にページ数が書いてございますが、1ページを御覧ください。5(1)管理運営による成果、実績ですが、利用者数については1万5,000人の目標に対し、1万4,939人の利用があり、達成率99.6%でしたので市の評価をCとしました。市民農園の契約区画数につきましては、318区画の目標に対して306区画で達成率96.2%でしたので、市の評価をCといたしました。

次に、5(2)、市の施設管理経費の縮減への寄与につきましては、指定管理料と提案額が同額でしたので、評価をCとしております。5の(3)管理運営の履行状況ですが、年に2回程度モニタリングを行い、その結果を基に、各評価項目において市の評価を行っております。これらの細かい評価結果につきましては、対象一覧に示してございますが、特記事項などについて、特筆すべき説明事項はございませんので、説明は割愛させていただきます。

管理運営の履行状況につきましては、7つの項目を全てCとし、「おおむね管理運営の基準、事業計画に定める水準のとおり、管理運営が行われていた」と評価しました。これとは別に、特記事項というわけではございませんが、令和元年度契約区画数が269区画、令和2年度の契約区画数が306区画と、前年比で13.7%増えております。現時点では、契約区画数が340区画となり、目標を達成しております。コロナ禍の中、屋外のレクリエーションである市民農園は好評でございます。また、アンケートを反映して、耕運機を3台増やして合計9台として、増加する貸出しの需要に応じております。さらに耕運機の使い方講習なども行うなどして、しっかりとした運営を行っております。

8ページを御覧ください。A3の紙の8ページでございます。7、総括を御説明いたします。(1)指定管理者による自己評価ですが、総合評価をCとした上で所見といたしましては、施設運營業務、施設維持管理業務については事業計画どおり実施しました。ごみ処理に関しても、大型コンテナを年間通して設置しました。植栽、維持管理業務も円滑に遂行、野バラ園の適正な管理に努めました。自主事業については、市民農園利用者のニーズに沿った農業資材の提供とサツマイモの掘り取り体験を実施、地域住民向けには大根、ホウレンソウ、ニンジン、ジャガイモの収穫体験を実施しました。「女性や子供に向けた更衣室や通路の見直しなど、利用者視点に立った整備等に努めてまいります」としております。これらにつきましては、インデックス中田7の後から5ページ分に自己評価の部分がございまして、それらを取りまとめたものとなっております。ページ番号を打っていないのですけれども、5枚ありまして、自己評価で例えばCだとか最後の総括に反映すべきことが書いてございます。

それでは、インデックス中田2の8ページにお戻りいただきまして、次に、(2)市による評価でございますが、右側の集計表に、先ほど御説明申し上げました、市の各項目の評価をまとめたものを記載しております。Cの評価が10となっております。市による総括評価の目安においては、市の評価項目のDが20%以下、かつ市の評価項目にEがないに該当し、総括評価はCとなります。

所見といたしましては、施設運營業務、施設維持管理業務については、おおむね事業計画どおり実施されている。自主事業については、農園利用者のニーズに沿い、農業資材の提供、栽培講習会の実施のほか、市民対象の収穫体験などを実施し、参加者から好評だったことから、市民農園の活性化とPRに資する活動を行っていると評価できる。以上を踏まえ、おおむね市が求める水準などに則した管理運営が行われている。長期にわたるコロナ禍により密にならないレクリエーションとして、市民農園のニーズが高まっている中で、中田も利用者数が増加している。契約区画数を維持するため、アフターコロナを見据えて、市民から注目されるよう、さらなる利用者満足度向上を図る取組やPRを行っていただきたい。また、一部区画に土壌改良が必要なため、着手していただきたいと考えております。こちらの土壌改良ですけれども、大それたものではなくて、堆肥を通常より多めにまいて耕すことで水はけをよくするようなものを考えております。

最後に、(3) 経済農政局、指定管理者評価選定委員会の意見については、お手元に事務局（案）を記載したA4の紙がございます。また、プロジェクターにも映しておりますので、御覧いただければと思います。

「おおむね事業計画どおり、事業運営が行われている。長期にわたるコロナ禍により、密にならないレクリエーションとして市民農園のニーズが高まり、中田市民農園も利用者数が増加している。増加した契約区画数の利用率を維持するために、コロナ後を見据えて、今後も市民から注目されるよう、さらなる利用者満足度の向上を図る取組や継続的なPRを行っていただきたい。また、一部区画において、土壌改良を要する区画が存在することから、さらなる利用者確保のため、土壌改良に着手していただきたい」としております。

以上で中田やつ耕園の説明を終わります。よろしくお願いいたします。

【部会長】 ありがとうございます。

これより質問、御意見の時間にしていきたいと思っております。なお、財務諸表につきましては、非公開の情報となります。後ほど別に時間を取ってまいりますので、それ以外の質問、御意見をお願いしたいと思います。また、意見につきまして、後ほど部会の意見として取りまとめていくことにしておりますので、意見であることを明確に発言いただければ幸いです。また、年度評価シートの委員会の意見は、あらかじめ事務局としての案でございますけれども、委員会の意見を踏まえて修正することも可能ですので、御意見があれば、理由を明確に御発言いただければと思います。

それでは、ただいまの説明に対しまして、何か御意見、御質問ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

私のほうから、A3の8ページの総括の自己評価で、「大型コンテナを畑の中央に年間を通じておきました」と書いてありますけど、これは指定管理の必須事業なのか、自主事業なのか分からないのですけれども。先ほど見させていただいたコンテナは、あれは指定管理上の必須事業なのでしょうか。それとも自主事業なのでしょうか。

【農政課長】 施設の維持管理でございますので、自主事業ではなくて必須事業になります。

【部会長】 ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。委員、お願いしま

す。

【委員】 簡潔に。土壌改良と先ほど説明がありましたが、土壌改良という文面だけを見ますと、これは委員会の意見ですからもっと具体的に。堆肥等とか入れてはまずいのでしょうか。2か所出てくるんですよね。多くの人がこの文字を目にしたいと思いますので、具体的にされたらいかがでしょうか。

以上です。

【農政課長】 ありがとうございます。では、文章のほうはこの場で直しますので、モニターを見ながら。

【部会長】 3番目ですか。「また一部区画において」というところですね。これをもう少し具体的にしてはどうかと。

【委員】 無理そうでしたら結構なのですが、この文面が独り歩きしますのです。

【農政部長】 例えば、「水はけの悪い一部区画において」とかとまず入れて、土壌改良の前に、堆肥を使用するなど……。

【委員】 堆肥「等」ですね。恐らく石灰を入れたりいろいろ。

【農政部長】 そうすると、かなり具体的にになりますかね。

【委員】 そうですね。

【部会長】 そのほかいかがでしょうか。

【委員】 去年見せていただいたときも土壌改良しなきゃいけないということで、水はけの悪いところがあったと思うんですけども、ここら辺という感じだったんです。だから、何区画が使えなくて、何区画改良して使えるようになったという具体的な数字みたいなのが入るといいなと思ったんですけど、そうじゃないと、今日の説明だとちょっとここを土壌改良しましたという説明だったんです。確かにあそこのところは水浸しでいけすにしたほうがいいよね、みたいな話をしていたところだった気がするんですけど、何となくそういうことだったかと、それが具体的に今年は1年間でどう改良されたかということが出てきていないのが残念だと思うんですが。

【部会長】 これは評価シートには、先ほど車に乗っていたときに、土壌改良を1年間された結果、20区画ぐらい利用者が増えたように私には説明していただきましたけれども、それが数値としては書いていないので、もしやるのであれば、改良されつつあるけれどもさらにという、そういうニュアンスかとは思いますが、今、委員の意見と反対になってしまうかもしれませんけれども。

【委員】 でも、だから20区画は改良されたと。

【部会長】 で、利用者が増えたと。

【委員】 すればいいと思うんですけど。

【部会長】 頑張っているところは褒めてあげないといけないと思いますので、20区画増えたのが頑張ったと言えるのかどうかはありますが、私は一応達成されているんじゃないかと思いましたので。

【農政課長】 このような形でいかがでしょうか。また既に土壌改良を行っているものの、依然として水はけの悪い一部区画が存在していることから堆肥を使用するなど、さらなる利用者確保のために土壌改良に着手いただきたいと。

【部会長】 そのほかいかがでしょうか。

では、この辺で、一度財務状況のほうに話題を移らせていただきます。また何かありましたら、最後をお願いいたします。

これより計算書類を基にして、管理者の財務状況に関する確認を行います。一部の資料には、一般には公開されない法人等情報を含んでおり、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条但し書きの規定により、ここからの会議は非公開とさせていただきます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

【部会長】 財務状況に関する協議につきましても、これで終了といたします。

それでは、改めまして、全体を通しまして、御意見等ありましたら、お願いいたします。ないようですので、委員会の意見として決定をしてみたいです。

・概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。・長期に渡るコロナ禍により「密にならない」レクリエーションとして市民農園のニーズが高まり、中田市民農園も利用者数が増加している。増加した契約区画の利用率を維持するために、コロナ後を見据えて、今後も市民から注目されるよう、更なる利用者満足度の向上を図る取り組みや継続的なPRを行っていただきたい。・また、すでに土壌改良を行ってはいっているものの、依然として水はけが悪く土壌改良を要する区画が存在することから、堆肥を施用するなど、更なる利用者の確保のため、土壌改良に着手していただきたい。こちらでいかがでしょうか。ないようですので、それでは、中田やつ耕園における指定管理者による施設の管理運営に関して、当部会における委員会としては、このように決定させてよろしいでしょうか。意見がありませんので、そのように決定させていただきます。どうもありがとうございました。

続きまして、議題の3に移ります。富田さとにわ耕園の指定管理者年度評価及び総合評価に関する事項について入ってまいります。事務局より説明をお願いいたします。

【農政課長】 富田さとにわ耕園について御説明いたします。

それでは、インデックス、富田1、令和2年度指定管理者年度評価シートをお願いいたします。

1、公の施設の基本情報ですが、愛称は富田さとにわ耕園で、正式名称は千葉市富田都市農業交流センターです。条例上の設置目的は、都市部と農村部の交流を図るとともに、農業を振興することにより、地域の活性化に寄与することを目的としております。ビジョン、ミッション、制度導入により見込まれる効果については、記載のとおりでございます。成果指標は、来場者数と研修室稼働率で、数値目標は来場者数が年間11万人、研修室稼働率は20%でございます。

続いて、2、指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名は富田町管理運営組合、指定期間は平成29年4月1日から令和4年3月31日までの5年間です。今年度が最終年次となります。選定方法は非公募です。非公募の理由は記載のとおりでございます。管理運営費の財源は、指定管理料及び研修室の利用料金収入となっております。

続いて、3、管理運営の成果・実績ですが、令和2年度の実来場者数は8万6,256人で達

成率78.4%、研修室稼働率は4.4%で達成率は22.0%でございます。

続いて、2ページをお願いいたします。4、収支状況は令和2年度の実績額のみ御説明いたします。(1) 必須業務の収入状況ですが、ア、収入は指定管理料3,231万6,000円、利用料金収入3万7,000円、その他収入5万円、合計3,240万3,000円でございます。イ、支出ですが、人件費が627万1,000円、事務費が401万円、管理費が2,194万2,000円、合計3,222万3,000円です。実績額と計画額の差異の要因についてですが、人件費につきましては、天候等により現場作業が減少したことにより減少し、事務費につきましては、消耗品の削減、管理費につきましては、園内維持管理費の中の、修繕費が増加となったことによるものでございます。

続いて、3ページをお願いいたします。自主事業の収入状況ですが、ア、収入は自主事業収入461万2,000円、イ、支出は人件費が10万8,000円、事務費が48万3,000円、委託費が189万7,000円、事業費が104万円で合計352万8,000円でございます。

(3) 収支状況ですが、必須業務と自主事業業務を合わせた総収入は3,701万5,000円、総支出は3,575万1,000円で、収支は126万4,000円の黒字となっております。

管理状況の評価の1から3ですが、これにつきましては、後ほど御説明をさせていただきます。

続いて、5ページをお願いいたします。上段、(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会での意見を踏まえた対応ですが、昨年度、「管理運営を通じて、魅力を向上させ来場者を増やすのみならず、新たな活用法を含め、研修室稼働率向上に努められたい」との御意見をいただいております。提案されていたシバザクラ等の整備のみならず、新たにネモフィラ、ポピー、きばな藤の花の管理と遊歩道、林地の整備を積極的に行い、年間を通じて花を楽しみ、回遊できる場所として施設の魅力を向上させるとともに、研修室の稼働率向上に向けて、利用者サービスを向上させる取組の検討を行いました。なお、昨年度の検討を受けて、今年度からですが、Wi-Fi 無料接続サービスを新たに行っております。

続いて、下段になりますが、6、利用者ニーズ・満足度等の把握につきましては記載のとおりで、アンケート調査で73件の回答をいただき、富田さとお耕園を訪れる目的の大半が自然との触れ合いを求めている、季節の花を見に行きたいという回答結果となっております。利用者アンケート結果からも施設の目的が果たされていると言えます。

次に、先ほど飛ばしました、5、指定運営状況の評価の1から3について御説明いたします。今度はインデックス2のA3の資料を御覧ください。

1ページです。初めに、5(1) 管理運営による成果・実績ですが、来場者数につきましては、11万人の目標に対し、8万6,256人の利用があり、達成率78.4%でした。研修室稼働率については、20%の目標に対し4.4%で、達成率22.0%でした。しかしながら、市の要請による閉園43日間や緊急事態宣言による5月の来場者数、これは初期の頃、緊急事態宣言がありまして、落ち込みが特にありました。このようなコロナ禍の影響を総合的に判断し、市の評価をCといたしました。

次に、5(2) 市の施設管理経費削減への寄与については、提案額と実績の差が2.5ポ

イントであり、提案時と同額、または5%未満の削減となったため、評価をCとしました。

次に、5（3）管理運営の履行状況ですが、年に2回程度のモニタリングを行い、その結果を基に、各評価項目において市の評価を行っております。こちらの細かい評価につきましては、対象一覧表で示してございますが、まず、先に各評価項目の市の評価について申し上げます。7つの項目全てCとし、おおむね管理運営の基準、事業計画等に定める水準どおり管理運営が行われていたと評価しました。特出すべき点としましては、3ページ番下になりますが、清掃・植栽管理という項目がございます。モニタリングの結果の評価の点は二重丸とし、その理由として、提案書にもある芝桜、桜、ツツジ、アジサイ、コスモス、ヤマユリ以外にもネモフィラ、ポピー、きばな藤など、1年を通じ、園内にて花が楽しめる植栽管理を実施したことを評価いたしました。

また、7ページです。7ページの評価項目（3）障害者雇用の確保として、直接の障害者雇用ではありませんが、障害者福祉に取り組むNPO法人に業務委託を行い、障害者の雇用に貢献しております。こちらは清掃業務委託を発注しております。

8ページをお願いいたします。7、総括をお願いいたします。（1）指定管理者による自己評価ですが、総括評価をCとした上で、所見として、本館、駐車場並びに四阿の清掃業務は週2回のローテーションどおり、ほぼ順調に実施した。植栽等園内管理作業は、おおむね順調に業務が遂行できたと思われる。自主事業については、コロナ禍での開催となったが、農業体験農園のほか、ジャガイモ、落花生、枝豆、サツマイモオーナー制度など、全体的にかなり満足な状況と思われる。地元農産物の販売等も新型コロナウイルス感染防止対策に留意し、場所や要因を工夫しながら実施し、来場者サービス、交流面等で寄与したと思われる、利用者からの意見でも好評をもらっている、案内看板の増設要望については、利用者の視点で説明、案内に努めていきたいとしております。

次に、（2）市による評価ですが、右下の集計表に先ほど御説明申し上げました、市の各項目の評価をまとめたものが記載してあります。評価Cが10個、市による総括評価の目安においては、市の評価項目のDが20%以下、かつ市の評価項目にEがないに該当し、評価Cとしました。

所見としまして、施設運營業務、施設維持管理業務については、おおむね計画どおり実施されていた。植栽維持管理業務については、当初提案の芝桜や季節の花々の整備とともに、ネモフィラ、ポピー、きばな藤などの花の整備、管理も積極的に行い、年間を通じて花を楽しめる場所として運営していると評価できる。来場者数は目標数値を達成していないが、マスク着用や消毒液の設置、感染症対策啓発物の掲示など、感染症対策を行った上で、年間を通じた花の管理や自主事業の実施など、施設の魅力を向上させる管理者の努力は評価できる。今後も地域や大学生との連携を続け、リピーターや新たな来園者を呼び込めるよう期待する。以上を踏まえ、おおむね市が求める水準等に即した良好な管理運営が行われていると判断できるが、研修室については、稼働率低迷が以前から課題となっていることから、稼働率向上の取組に努められたいとしました。

最後に、（3）経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見について、事務局（案）を申し上げます。お手元A4の別の紙を御覧ください。また、プロジェクターにも同じも

のを映してございます。「おおむね事業計画どおりの事業運営が行われている。研修室の稼働率の低迷が以前から課題となっていることから、稼働率の向上に向けた取組を実施していただきたい」としました。

年度評価の説明は以上です。こちらのほうで、一度、お願いいたします。

【部会長】 ありがとうございます。

富田さとお耕園につきましても、これから質問、御意見をお受けしていきたいとします。財務諸表につきましても、先ほど同じように別立てでいきます。また、年度評価の委員会の意見として、御質問とか意見がありましたら、お願いいたします。

【委員】 お聞きしてもよろしいでしょうか。去年初めてだったので、ここの研修室があまり使われていないということが1つの課題と、私もそのときは思ったと思うのですが、そんなに課題かなと思います。何故かという、この耕園自体というか、花を見せるとか、それから皆さんと畑の作業をするとか、外での活動を主にしているところで、研修室は例えばコスモス祭りみたいな何かイベントがあったときに、ここは藍染めの場所になったりとか、別に借りて借り賃が入るというよりは、そこにこういう場所があるからいろいろなものと総合して企画ができることになっているのだというのを、1年を通して私は思ったのです。

だから、たくさん借りてくれる人がいないとか、何か教室とか開ける工夫があるだろうみたいなことを去年意見交換したと思うのですが、それほど稼働率というのをここに書いて、稼働させろ、させろということではないのではないかと思うのですけど、市としてはどうお考えですか。

【農政課長】 今回、最終年次でございます。次の5年、また指定管理のいろいろと計画を立てたりしながら判断していくので、そこに少し今の御意見を反映させていただければと思います。

参考ですけれども、令和元年度の実績は、稼働率が18.2%で、目標の20%に僅か届かないような状態だったのですが、今年度は4.4%でコロナの影響があつて、かなりぐっと落ちてしまったところを、事実として御報告をさせていただきます。

以上でございます。

【部会長】 私は今、千葉市の資産運営委員会の委員をやっている、約3,000、千葉市の中に施設、ハードの建物があつて、それを維持していくかどうかというときには、その評価の指標として稼働率があり、稼働率が低ければ、もうその建物を管理していく必要性が低いと判断するので、やはりその辺は、全体の中での施設、千葉市の資産としての施設という位置づけが違うので、その辺は気をつけて意味を見ていきたいと。お願いします。

【農政課長】 今の御意見を踏まえまして、この施設に注目するだけなので、全体とのバランスを図りながら、次回の5年間の稼働率等は検討させていただければと思います。よろしくをお願いいたします。

【部会長】 そのほかいかがでしょうか。委員、お願いします。

【委員】 年度評価の文言で、「おおむね事業計画どおりの事業運営が行われている」という文章なんですけれども、稼働率の点とか拝見しますと、コロナの影響を多分に受

けておりますので、「コロナ禍の影響を受ける中、適正に事業運営がなされている」といった文章のほうが、良いと考えます。何しろ全部盛り込んでおおむね事業計画通りとして」、コロナの影響も含めて一括りにしたと思うんですけど、コロナの影響は受けていないものと読み取れてしまうので、そこは文章をもう少し分かりやすくしてはどうでしょうか。

【農政課長】 ありがとうございます。

【部会長】 いかがでしょうか。確かに、今までのストーリーを読むと、千葉市のほうから閉園というお願いをしているようですので、その辺を丁寧に使ってあげるといいかと思えます。お願いします。

【委員】 やはり稼働率のところですが、稼働率の向上というのは、確かに最初に設定した重大な目標ですが、ここで年度評価では、最後に総合評価がありますが、稼働率ではなくて稼働するためにどのようなことをやればいいのか、つまり工夫したらいいとかアイデア出しをしたらどうか、そういう検討をしてほしいと。実際に関わっている人が創意工夫みたいなものをしていただきたいと思うんです。でないと、この問題はずっと尾を引きますので。実際に話し合われているとは思いますが、稼働率を正面から表現をされるのであれば、先ほど言ったように、結論はどのような工夫の取組をしたらいいのか、プレ準備と言いますか、そういう表現をしてあげたほうがいいのではないかと私は思うのですが、どうでしょうか。評価ですから、書くのは当たり前ですが。どのような取組、工夫をしたら、稼働率が上がっていくのかの検討を当事者である人たちに、反省を踏まえてやっていただきたいと考えます。

【農政課】 ちょうどコロナ禍において、ワーケーションみたいな話が出ており、ちょうどW i e F i も市と富田さんとにわ耕園で話し合いながら決めていた経緯もありますので、その辺を記載するというところで、いかがでしょうか。例えば各種イベントでの活用やワーケーションなど、具体例を入れるのはどうでしょうか。

【委員】 そうですね。そういうことを入れないと、あまりに厳しい指摘、意見になってしまうと思います。

【農政課】 検討します。

【農政部長】 このように書くと、先ほどの委員の御意見も反映できるかと思えますので、皆様の御意見として、ヒントをいただけるという形でもございますから、こういうものでいいのではないのでしょうか。

【委員】 はっきり言って、委員の中で各研修室がどのように使われているのかというのが、詳細が見えないと思うのです。その上で数字のことを言っているので、お互いに齟齬が出てきやすいと思います。

【委員】 「ワーケーションで使えるよ」みたいなことを言ってあげることで、かなり使いたいという人はいると思います、今の状況から言えば。

【農政部長】 まさに、今日ここで会議をやっているだけでも、ちょっと気分が変わるというか、そういう考え方・利用方法があると。まず、この会議自体がヒントになるということかと思えます。

【部会長】 そのほかいかがでしょうか。

私から、先ほどA3の紙の3ページで、市のモニタリング評価で二重丸を付けるぐらい評価していたのですが、これが、飛ばしていますけど、総合評価のほうには若干入っているのですけれども、年度評価のほうには入れていないのはどういう書き分けなのか、総合評価に入っていればいいのかと、その辺を説明してもらえますか。わざわざ二重丸にしたのに入っていないというのが。それは総合評価に入れるのだからいいということならそれでもいいんですけど、どういう考えなのかが分らないです。

【農政課長】 御意見いただきまして、確かにここが年度でも頑張っていることは確かなので、同じになってしまうかもしれませんが、年度評価と総合評価は同じような表現でやらせていただければと思いますがいかがでしょうか。確かに、その部分をすごく頑張っていることは間違いないです。

【農政部長】 あと、そういった意味では、年度評価のところでは記載せず、総合評価に書いているというのは、結局ずっと花の取組をしっかりと頑張っていたいただいて、全体としてしっかり評価してあげたい。年度のところと総合が完全に同じ内容になっちゃうのがどうかというのもあったので、全体のトータルで評価してあげたいというところもあって、総合評価に入れたという考えもあります。でも、同じ表現でもいいのであれば。

【部会長】 年度評価が淡白なので、今回増えましたけど。いいでしょうか。

【農政部長】 確かに、この年間での取組自体も、こうやって二重丸を付けていることを考えれば、御意見いただいているとおり、入れるのもいいのかなと。

【農政課長】 この後、総合評価のほうをさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

【部会長】 分かりました。どうぞ。富田さとにわ耕園については、昨年度指定管理者が行った管理運営に対するものは年度評価における意見として、次期指定管理者選定に関わるものは総合評価の意見として整理させていただくということになっております。説明をお願いいたします。

【農政課長】 続きまして、総合評価の御説明をいたします。

今年度で、先ほども申したように5年間の指定管理が終了いたします。千葉市指定管理者制度運営ガイドラインでは、指定期間の最終年度に総合評価をすることとなっております。これにより、4年分を基に指定管理者の管理運営状況、制度導入効果を検証し、指定期間満了後の運営の在り方について、検討してまいります。

それでは、インデックス富田4の指定管理総合評価シートを御覧ください。1の基本情報につきましては、先ほど御説明したとおりでございます。2の成果指標の推移でございますが、来場者数については、4年間の合計が46万6,586人、目標が44万人、達成率が106%、研修室稼働率については、4年間の平均実績値が14.9%、数値目標が20%、達成率が74.6%となっております。

2ページを御覧ください。収支状況の推移ですが、4年間の総収入が1億4,824万5,000円、総支出が1億4,034万6,000円で、789万9,000円の黒字となっております。

3ページの4、管理運営状況の総合評価についてです。こちらは後ろに付いているA3の横版と併せて御覧ください。4-1、成果指標の目標達成についてですが、A3版

では、当時の評価で事業報告のところ、平成29年の来場者数が、ここには記載がございませんがB評価、令和元年度の来場者数がA評価、それ以外は研修室稼働率とともに、どちらもC評価になっております。この評価方法は、ページが飛んで申し訳ないんですが、インデックス富田2の1ページの5-1のところに評価の内容が書いております。A、B、C、D、Eとありますが、こちらの内容を用いております。評価対象の期間における年度評価の総括評価のDが1つ、かつ1以下、かつEがないということで、こちらのほうは評価をCとしてございます。ページが飛んで申し訳ないんですが、お戻りいただきまして、4-2、市の施設管理、経費縮減への寄与についてですが、こちらは過去4年ともC評価となっており、年度ごとに社会情勢を鑑み、減額した額で運営していることから評価をCとしました。4-3、市民平等利用の確保、施設の適正管理についてですが、規則どおり、利用許可手続が実施されており、緊急時連絡体制が整えられていることから評価をCとしております。

ページをおめくりいただきまして、4-4、施設管理能力についてですが、人的組織体制の充実及び施設の維持管理業務について計画どおり適正に行われており、それぞれCとしております。4-5、施設の効用の発揮について、幅広い施設の利用の確保については、こちらのほうに記載以外にも、最近ではフェイスブックによる広報や体験農園参加者のグループによる情報交換も行っており、PRなど十分に行われております。利用者サービスの充実、施設における事業の実施についても、アンケートにより利用者サービスの充実を行っております。また、自主事業につきましては、先ほどもシバザクラの話とか出ましたが、しっかりと実施しているといったところから評価をそれぞれCとしております。4-6、その他につきましては、市内在住者の雇用に努め、先ほど少しお話ししましたが、障害者施設を含む市内業者に積極的に発注を行っており、このことから評価をCとしております。

インデックス富田4のA4の4ページにお戻りください。総合評価を踏まえた検討といたしまして、(1)指定管理者制度導入効果の検証につきましては、研修室稼働率は目標に届かなかったものの、コロナ禍にもかかわらず、来場者数は目標をおおむね達成できております。施設管理は計画どおり行ったことに加え、季節の花々の積極的な整備管理や大学との共同イベントの実施、市民対象の体験農園など多様な自主事業において、都市部と農村部の交流や農業の振興により地域の活性化が図られたと考えており、当初見込んでいた効果がおおむね達成できたと考えております。

(2)の指定管理者制度運用における課題、問題点については、特にないと考えております。

(3)の指定管理者制度継続の検討については、継続することとしたいと考えております。

富田さとにわ耕園の説明は以上でございますが、選定評価委員会の意見、事務局(案)として、先ほどと重複いたしますが、別紙及びプロジェクターで映しておりますので、読み上げます。

おおむね事業計画どおりの事業運営が行われている。特に、季節の花々の整備を積極的に行い、年間を通じて花を楽しめ、回遊できる場所として運営していると評価できる。

研修室の稼働率については、数値目標を達成できていないため、稼働率の向上に努めていただきたい。

以上でございます。なお、スクリーンには、富田さとにわ耕園の様子を映させていた
だいております。こちら上段、ピンクのところ、これは4月のシバザクラ、一面に咲き
乱れるような形、併せてネモフィラ、が咲いている写真になります。下部ですが、100周
年記念の花文字ということで、千葉市市制施行100年を迎えましたので、100をかたどっ
たものを、ビオラ等を使い行ったものです。こちらは朝のテレビ番組のニュースで、富
田さとにわ耕園を背景に放映され、非常に認知度向上に効果的だったというところ です。
あとは、自主事業のブルーベリー狩りやコスモスの写真です。10月ぐらいが見頃になり
ます。あと、いずみハロウィンキャンドルナイトということで、千葉大学の学生に企画
いただいて、富田町で栽培したカボチャをくりぬいて、ランタンを作って夜にともして
みたとか、あとはポピー等が咲いていたり、右下なんかは市のオオガハスを水辺に植え
ていただいております。

以上でございます。

【部会長】 ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明と、意見の事務局（案）につきまして、質問、御意見あり
ましたらお願いいたします。委員、お願いします。

【委員】 まず、外の景観の花々のことですが、整備状況が、結論から言いますと、
コロナ禍において市民の健康の面から、かなり貢献していると思います。来年以降も、
コロナが簡単に収束するとは思いません。ですから、ここの耕園の利用価値、市民が享
受する数少ない耕園になりますので、それをどこか総合評価の中に、これからも期待さ
れるということをぜひ入れていただきたいと思います。表現はどのような形でもいいで
すが、なかなか空気のきれいなところ、健康を害する、あるいは、体の悪い方も出かけ
られる貴重な場所ですので、それに貢献したということ、あるいは、これからも期待さ
れるでも、どちらでも構いませんので。

できればいろいろな写真がたくさんあるわけですね、各イベントの。大変ですけれ
ども、そういうものを何らかの形で研修室に展示、あるいは、今はこういう時代ですか
ら、画像で見られるとか、そのようにして研修室の活用も合わせて考えることは可能で
はないでしょうか。これだけ膨大な活動、事業、イベントが埋もれてしまいますので、
ペーパーですとなかなか、積んでおくだけになってしまうので、研修室の中に何らかの
形で残してもらいたいです。

【農政課長】 御意見ありがとうございます。写真については、富田さとにわ耕園と
お話しをさせていただいて、今年度、すぐに対応できるかどうかというのはわかりかね
ますが、相談をさせていただきたいと思います。確かに、広いところ幾つかに写真が、
殺風景な部屋なので四季折々の写真が少しでも飾られていると研修室が少しは明るくな
るのかなと思います。

【委員】 体の悪い人も、歩けない人もいると思うんです。老人も含めて。ですから、
そういう配慮もしているのだと、全市民型とでも言いますか。

【農政課長】 ありがとうございます。それと、総合評価の御意見については、今、

打ち込んでおりますので、それが終わりましたら、また御覧いただければと思います。

【部会長】 そのほかいかがでしょうか。総合評価につきまして。委員、お願いします。

【委員】 年度評価と同様ですけれども、指定期間の後半はコロナの影響を受けておりますので、事業運営の前に足してあげたほうが分かりやすいかと考えます。

【農政課長】 ありがとうございます。では、年度計画と併せて表現を、修正します。このように修正したのですけれども、御意見をいただければと思います。

【農政部長】 委員の御意見のところ、健康確保というお話があったので憩いの場という表現にしております。

【委員】 そうですね。それでもできれば心身の健康、要するに、今、病んでいる人がコロナ禍でたくさんいると聞いています。健康がいいんじゃないですか。まさに健康を保つという意味です。

【農政部長】 健康という言葉が入ったほうがいい。そうすると、市民の健康確保や憩いの場としていたんですが。

【委員】 研修室の稼働率のところは変わらないのですか。

【部会長】 先ほどの年度評価のときに話題になった、次回に向けて稼働率については考えますという話はどういう意味だったんですか。

【農政課長】 今年度で5年の指定管理期間が終わります。そうすると、今度また、この後審議していただくんですけど、通常であれば、5年間また指定管理を行います。そのときに目標値等を設定していく中で、研修室の在り方だとか、を含めて達成率云々を検討して、もしくは、達成率ではなく、別の評価方法みたいな形で記載するだとか、そういったものは今後、設定する中でまた御審議いただくような形になるかと思います。

【部会長】 稼働率は、例えば、満足度の向上を図ることの検討などにするのはいかがでしょうか。

【農政部長】 満足の向上の表現でいかがですか。

【委員】 これは感想ですけど、水戸の海浜公園とかネモフィラとかですごく注目されているけど、私は委員にならなければ、この富田さにとわ耕園を知りませんでした。こんなに素敵なのところが千葉市にあるんだというのは誇りだと思います。だから、そこまで一生懸命お世話をして、ここまでしてくださったというのを本当に市民として感謝できる場所だと思います。

【農政部長】 大変ありがたいお言葉です。今の表現を大分皆さんに工夫していただいたことを考えると、よりの確に捉えられるのかと思いますので。

【部会長】 それでは、一旦財務のほうに移ります。

法人の財務状況につきまして御発言をいただきたいと思います。条件につきましては先ほどと同じで、不開示情報となって非公開とさせていただきます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

【部会長】 財務状況に関する協議は、これで終了といたします。

それでは、最終的に年度評価と総合評価のフィックスをしていきたいと思います。ま

ず、年度評価のほうでございます。・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、適正な事業運営が行われている。・特に、季節の花々の整備を積極的に行い、年間を通じて花を楽しめ回遊できる場所として運営していると評価できる。・研修室の稼働率の低迷が以前から課題になっていることから、各種イベントやワーケーションでの活用等、稼働率の向上に向けた取り組みを検討していただきたい。御覧いただいて何かありましたらお願いいたします。

【部会長】 では、年度評価につきましては、これでよろしいでしょうか。特にないようですので、これで決定とさせていただきます。

続きまして、総合評価につきましてはいかがでしょうか。委員、お願いします。

【委員】 冷たい言い方ですが、評価は評価なんですよね。できなかったということは素直に認めたほうが私はいいのではないかと思います。

【農政課長】 今、目標が達成できないけれども、今後は方向性をこのように変えて努力してもらいたいと、こういう表現という形ではいかがでしょうか。

【委員】 設定が大目標になっているので、やっぱり触れたほうがいいのではないかと思います。

【農政課長】 ありがとうございます。

【部会長】 私はいいですけども、委員の皆さんはいかがでしょう。

では、・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、適正な事業運営が行われている。・特に、季節の花々の整備を積極的に行い、年間を通じて花を楽しめ回遊できる場所として運営していると評価できる。このような取り組みは、コロナ禍で容易に外出できない市民の健康維持や憩いの場として活用されており、一層貢献されることが期待できる。・研修室の稼働率については、数値目標を達成できていないが、今後においては、各種イベントやワーケーションでの活用等、利用者の満足の向上に努めていただきたい。として決定してよろしいでしょうか。特に意見がないようですので、決定していきたいと思います。ありがとうございます。

それでは、議題の4に移ります。下田農業ふれあい館の年度評価に関する事項についてです。事務局のほうから説明をお願いいたします。

【農政課長】 それでは、続きまして、下田農業ふれあい館の御説明をいたします。

インデックス下田1の令和2年度指定管理者年度評価シートをお願いいたします。1、公の施設の基本情報ですが、愛称は下田農業ふれあい館で、正式名称は千葉市下田都市農業交流センターです。条例上の設置目的は、都市部と農村部の交流を図るとともに、農業を振興することにより地域の活性化に寄与することを目的としております。ビジョン、ミッション、制度導入により見込まれる効果は記載のとおりです。成果指標は、利用者数で、数値目標は年間8万人でございます。

次に、2、指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名は下田ふれあい交流施設管理運営組合です。指定期間は平成30年4月1日から令和5年3月31日までの5年間です。選定方法は非公募で、非公募の理由は記載のとおりです。次に、管理運営費の財源は指定管理料のみとなっております。

3、管理運営の成果・実績ですが、令和2年度の利用者数は6万4,853人で、達成率は

81.1%となっております。

2 ページをお願いいたします。4、収支状況は、令和2年度の実績額のみ御説明いたします。(1) 必須事業収支状況、ア、収支は指定管理料953万3,000円、その他収入3万7,000円、合計957万円です。イ、支出は人件費が539万5,000円、事務費が186万4,000円、管理費192万2,000円、合計918万1,000円でございます。実績額と計画額の差異についてでございますが、事務費の減少につきましては、光熱水費、印刷製本費の削減、管理費の減少につきましては、施設修繕費の削減によるものでございます。

3 ページをお願いいたします。自主事業収支状況です。ア、収入は自主事業収入、9,209万4,000円、その他収入245万円、合計9,454万4,000円、イ、支出ですが、人件費が1,545万7,000円、事務費が7,919万円、合計9,464万7,000円です。

(3) 収支状況ですが、必須事業と自主事業を合わせた総収入は1億411万4,000円、支出が1億382万8,000円、収支は28万6,000円の黒字となっております。

管理運営状況の評価の(1)から3ですが、これは後ほど御説明いたします。

5 ページをお願いいたします。5 ページ上段、(4) 経済農政局指定管理者評価選定委員会の意見を踏まえた対応ですが、昨年度、おおむね事業計画どおり、事業運営が行われている。自主事業の収支を改善させるため、コロナ禍での地元直売所における農産物の購入が伸びていることを好機と捉え、利用者のニーズに沿った魅力ある直売所作りやレストランの在り方の検討を進め、自主事業の赤字収支の解消、収益性の改善に資する工夫に努められたいとの御意見をいただいております。直売所の陳列方法の見直しやネット販売の取組、クックパッド、キャッシュレス化 P a y P a y の導入、などを行い、買物のしやすさや消費者が求める商品の提供を基本として営業し、自主事業の収支改善を図りました。

6、利用者ニーズ・満足度等の把握につきましては記載のとおりでして、コロナ対策として、書面によるアンケートを中止し、来客者の質問や意見を役員会や従業員内で情報共有し、お客様の意見を反映させるよう努めました。

先ほど飛ばしました。5、管理運営状況の評価、1から3についてですが、こちらはインデックス2のA3のもので御説明をさせていただきます。初めに、5の(1) 管理運営による成果実績ですが、利用者数につきましては、8万人の目標に対し、6万4,853人の利用があり、達成率81.1%でしたが、レストランの休業及び直売所の時短営業や人気であったレストランのバイキング形式を休止し、個別メニューに変更したなど、コロナ対策の影響を総合的に判断し、評価をCとしました。

次に、5の(2) 市の施設管理経費縮減への寄与については、提案額と実績額がほぼ同額であり、評価をCとしました。

5の(3) 管理運営の履行状況ですが、年に2回程度モニタリングを行い、その結果を基に、各評価項目において市の評価をしております。7つの項目全てCとしまして、おおむね管理運営の基準、事業計画等に定める水準どおりに管理運営が行われたと評価しました。各評価項目の中で特筆すべき点について申し上げます。

2 ページの評価項目2、施設管理能力の③、従業員の能力向上において、イオンから農政課に出向している職員を講師に招きまして、彼は野菜部門でマネジャークラスを務

めておりまして、陳列方法から始める売場作りの運営のノウハウについて研修を行いました。

次に、5ページをご覧ください。全般的にコロナ対策の一環としてアンケートを中止したものの、店頭での意見やお客様の意見、それを受けた対応を市に報告、意見交換する形に変更しております。

6ページをお願いいたします。上から3番目、②自主事業の効果的な実施について。ア、農産物直売場では、コロナ禍においてイベントの中止があったものの、ネット販売の参入、こちらはクックパッドマートに参入しております——といった新たな取組の実施や、イ、農家レストランでは休業やバイキング形式から個別メニュー形式の変更によるダウンを、直売所内での弁当販売を行うことで少しでも減収を補填しようとする取組を行いました。

7ページのウ、イベント等ではキャッシュレス化の導入を行いました。こちらはP a y P a yを導入してございます。

8ページ、総括を御説明いたします。(1) 指定管理者による自己評価ですが、総括評価をCとした上で、所見といたしましては、本施設はオープンし、13年目を迎え、地域にも浸透し、おおむね計画どおり管理運営ができました。また、先ほど申し上げました特筆すべき事項を踏まえ、次年度も引き続き意見聴取に努め、管理運営を図っていくとしております。これらはインデックス下田7の事業報告書の後半、後ろから4枚のところから始まる自己評価を基に作成をしております。

インデックス2の8ページにお戻りいただきまして、(2) 市による評価ですが、右下の集計表に、先ほど御説明申し上げました、市の各項目の評価をまとめたものが記載されております。評価はCが9つ全てとなり、市による総括評価の目安においては、市の評価項目のBが20%以下、かつ市の評価項目にEがないに該当し、総括評価をCとしました。

所見としまして、施設維持管理業務については、おおむね計画どおり実施されていた。ポツ3の自主事業は10万3,000円の赤字となっはいるものの、前年は70万3,000円の赤字でございまして、60万円改善しております。必須事業を含めた全体では、28万6,000円の黒字となっており、自主事業の収支改善が寄与していることは評価できます。ポツ5を御覧ください。とはいうものの、いまだ自主事業は赤字であり、黒字化を図る取組として、直売所のネット販売の強化やレストランの弁当販売の強化や来客増加につながる新たな取組の検討により、収支の改善を図られたいと考えています。

最後に、経済農政局、指定管理者選定評価委員会の意見について、事務局(案)を申し上げます。お手元の紙と、またプロジェクターのほうに映してございます。おおむね計画どおり、事業運営が行われている。直売所については、店頭の品ぞろえの充実やスタッフの研修等により魅力ある直売所づくりに努めるとともに、ネット販売の強化などにより、さらなる売上げの増加を図られたい。レストランについては、自主事業の赤字収支の要因となっていることを踏まえ、弁当販売の強化や来店客の増加につながる取組等により、収支の改善を図られたいとしました。

下田農業ふれあい館の年度評価シートは以上でございますが、スクリーンには、下田

の様子を映してございます。こちらは下田の写真でございます。100周年の花文字を、入口で行っております。あと、左下、以前はバイキング形式でしたが、令和2年度は、定食という形になってございます。最後に研修の話が出ましたが、写真では分かりにくいかもしれませんが、以前ですと、野菜を寝かせて陳列していたものが、本日の施設案内で緑色のプラスチックみたいなものがございましたが、それを利用し野菜を立てて陳列することで商品がしっかりと見えて、かつ少ない商品量でもボリューム感が出せるということで商品が豊富に見える効果がございます。あと、陳列量の総数が減ることになりますので、商品の鮮度維持、にもつながり、利用者の満足度の向上からリピーターの獲得などにつながったのかという評価になっております。

以上でございます。

【部会長】 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、御質問、御意見ありましたらお願いいたします。最後の事務局（案）としての意見でも結構です。いかがでしょうか。

委員、どうぞ。

【委員】 先ほどの食品の陳列についてアドバイザーが入ったというお話だったんですけども、レストランもアドバイザーが入ったほうがいいと思ったんですが、そこら辺の取組というのはどうなのでしょう。

【農政課長】 御意見ありがとうございます。今回、たまたまなんですけれども、イオンの野菜のマネージャーが、千葉市の農政課のほうに出向していただいて、売り場の見せ方等をアドバイスいただいたのですが、彼はレストランのスペシャリストではございません。この場合、委託するとまたお金がかかってしまうので、知り合いを頼るなど何らかの形でコネクションを使ってメニューの改善だとか、お客を呼ぶ一環としてお弁当販売等でできるだけ収支の減収を補填する形で頑張っているのですが、また新たに、我々のほうでレストランに知見のある方がいて、御指導いただけるようなことがあれば、指導していきたいと考えております。ありがとうございます。

【委員】 今日もここに来るのに私の家族と話してていたんです。レストランのことを話していて、「あそこは学食だよな」みたいな話をしました。本当に座る椅子とか机でも全然雰囲気が変わってしまうんです。たまたまですけど、君津に農家レストランというところがあって行ったんです。そうしたら雰囲気はいいし、出しているものはそれほど変わらないのにおいしく感じるというか。食器の使い方とか、そういうものもスタッフの人たちが研修すればもっと改善ができそうだとすごく思いました。

今、新しいメニューを、「5名限定でおそばをやっています」とかというの、あれも載せ方とか盛り方とか、そういうもので全然変わってくるはずなんですけれども、食器は悪いしという、すごく残念なことになっている。そういうことをもっと工夫すれば売上は上がると思います。また、ホームページを見させてもらおうと、産直ではいろいろな野菜の食べ方のアドバイスみたいなこと、「珍しい野菜が出てくるので食べ方のアドバイスをしていますみ」みたいなのは今日の施設案内ではほとんどなかった。落花生の話ぐらいだったんです。「何だろう、この野菜」と思うような野菜は出ていたし、例えば珍しいスイカがあって、「これはすごく売れるんです、名前も面白いし」と事務長が言ってい

たけど、それがどんなスイカで、どんな色をしているのかとか、そういうものもうちに帰って調べてみなくては分からないところ、そういう点を紹介してくれれば、「これは面白い」と、「こんなおいしそうなスイカなら買ってみよう」と消費者の購買につながっていくと思うんですけども。日々の努力というか、ものすごく事細かにきちんと努力していけば、もっともっといくなと、今日も見させてもらって思ったので、そこら辺も意見交換を市の方としていただけるといいなと思いました。

【農政課長】 御意見ありがとうございます。私も今日、スイカを見て、こういうのはもっとPRしたほうがいい、せめてポップなり何なりでもPRしたほうがいいと思った次第なので、御意見として頂戴いたしまして、検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

【委員】 以前は、実はポップとかやっていたんですよ。ですから何かやれない手間か事情があるのかもしれないですね。食べ方の工夫なんかもやっていたんですよ。恐らく何か事情が、後で聞いてみたらいいのかもしれませんが、消極的にやっていないとすれば、なってきたのか、手がないのか、そういうのがあるかもしれません。

それと、結局は委員が言われましたけど、マーケティングは日々、常に考えて、顧客が何を求めているか、それから、それに対応する、専門用語を使って申し訳ないんですけど、マーチャンダイジングは、陳列のほうです、それに応えていくかというのは、これは永遠の物を売る、商売をする人の根幹ですので、これを研修にどん欲に行ったり、あるいは、そういう人たちに行かなくても話を聞いたり媒体なりを、研究心というのですか、商業力をぜひ高めて、僭越ながらしていただきたいと思います。でないと、古臭いと言われてしまう可能性がありますので、その辺りについて、ぜひお願いしたいです。

それから、あと1点、弁当販売というキーワードが出てくるのですが、これではなかなか見えづらいので、わかりやすい意見として下さい。

【部会長】 意見をまとめる必要がありますので、まず質問させてください。指定管理の中で自主事業というのがあるのは分かっているんですけども、そのウエート、今、自主事業の意見で集約しているような気がしていて、どれだけ自主事業に対して意見を言ったほうがいいんですか。

【農政課長】 指定管理なので、まず本来は必須事業のほうが中心になります。今回、どうしてもここは金額なんかを見てもみると、自主事業のほうが割合的に多くなってしまって、そちらのほうに目がついてしまって、管理運営というのは建物の管理運営なので、多分普通にやっていたら、富田とか中田とは違まして、普通に建物の管理は通常に行われるので、ここは確かに自主事業のほうが目立ってしまうところではあるんです。ですので、こういう書きぶりにはなってしまいうんですが、本質のところは必須業務のほうが中心になります。

【部会長】 ただ、これから財務諸表の話題にもなりますけれども、自主事業で事業が頓挫してしまってもらっても困るわけですよ。

【農政課長】 おっしゃるとおりでございます。ここはどうしても、直売所やレストランという、普通の商業施設のようなところなので、ほかの2施設とは毛色が変わってしまっている部分があるのは事実でございます。

どうしても自主事業のところに触れざるを得ない評価にはなるんですけども、先ほども申したように、管理運営は、通常通り行っていれば取り立てておかしいことにはならないんです。あと、条例上の魅力を売り出していくというのは、どうしても書きぶりが自主事業のウエートが大きくなってしまうのは仕方ない部分ではあるのかと思います。

以上でございます。

【部会長】 財務のほうにいて、それで問題があるようでしたら、またアドバイスを、皆さんの意見をまとめるということにしたいと思います。

それでは、委員のほうから、条件は同じように非開示情報で非公開と、これからはいきます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

【部会長】 財務状況についての協議はこれで終了といたします。

それでは、最終的に年度評価をまとめていきたいと思います。レストランにつきましては、皆さん、お二方があったように、私も同じように疑問を抱いていて、何らかのアドバイスが必要だと思います。定食が1,000円、1,200円という定価設定ですので、その周辺の同じようなレストランには負けてしまうという値段設定になっておりますので、一方で弁当は350円ですから、弁当が売れるのは当然なのでしょう。原価率も高いので、どこかでやり方が間違っている可能性があります。

【委員】 やっぱりノウハウなんですよ。やっぱり技術なんですよ。雰囲気作りはもちろんそうなんですけど、ノウハウの収集、習得、これは具体的には委員が言ったんですけども、それを絶えず行ったり、聞いたり、見たり、これですよ。そのことを言いたいですよ。

【委員】 まとまるかどうか分からないんですけど、下田都市農業交流センターでしょう。そうすると、ここの役目というのがあると思うんです。事務長さんがおっしゃっていたみたいに、「千葉で作った野菜を通販でこだわって出しているんだ」ということがあって本当は千葉市とか千葉県ってすごく農業の盛んなところで、千葉市はこんなに都市化しているのにすごく農業が盛んで、いろいろなものを作っていて、知らないことがたくさんあって、ネット販売なんかでも欲しいと言われるような珍しい野菜とか新鮮な野菜を提供できるということをもっと発信するような取組をしてくれるところ、そういう場所を維持管理するだけじゃなくて、そこに発信とか、そういうものを加味するとか、意識してやっていってくれるといいのではうんですけど。

【委員】 雰囲気作りというのは、これもマーケティングに入れたらどうなんですか。雰囲気作りや価格設定と、書けば分かりやすいんですが、そういうことがあるということとは分かるんですが、もう一括りにマーケティングしてしまえば全部入るんじゃないですか。まだまだマーケティングは下田だけではないですが、千葉の直売所はそれが遅れていると思いますので。

【農政課】 では、網掛けしたところを全て取ってしまって、マーケティングを強化し、収支の改善を図られたいとかにいたしましょうか。

【委員】 ただ、弁当のところは新しい取組なので。

【農政課】 委員の意見として残したほうが良いということですね。

【委員】 はい、入れてあげたほうが良いんじゃないですか。こういう内容の弁当を新たに始めて好評だという事業者側からのコメントなので。

雰囲気作りや価格設定というのはマーケティングのことを言っているんですよ。

【農政課】 この辺を全てマーケティングに変えるようにということですね。

【委員】 そうです。消費者のニーズをつかむと、どう応えるかというのが今、求められている仕事なので、両方ですね。

【部会長】 委員、どうぞ。

【委員】 違う箇所ですけど、冒頭の部分、おおむね事業計画どおりの事業運営、必須事業については確かにそのように進んでいると思うんですけども、自主事業のほうを見ると、レストランでバイキングは中止になり、時短運営がありということを見ると、コロナの影響という部分を少し入れてあげたほうが良いのではないかと考えます。

【農政課】 例えば、富田さとにわ耕園の年度評価でもこのような表現を使いましたが、この辺の表現をうまく。

【委員】 そうですね、はい。

【部会長】 そろそろ決定に行きたいと思いますが、今スクリーンに出ておりますものが、最終の委員意見案です。・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、適正な事業運営が行われている。・直売所については、店頭の商品ぞろえの充実やスタッフ研修等により魅力ある直売所づくりに努めるとともに、ネット販売の強化など更なる売上の増加を図られたい。・レストランについては、自主事業の赤字収支の要因となっていることを踏まえ、弁当販売の強化や来店客数の増加につながるよう、消費者のニーズを捉えるマーケティングを実施する等の更なる取り組みを実施することにより、収支の改善を図られたい。・千葉市ならではの都市部と農村部の交流という原点を見据えた取り組みを充実されたい。これでいかがでしょうか。特に意見がないようでしたら、これで決定とさせていただきます。ありがとうございました。

それでは、続いての議題に移ります。5番です。千葉市ふるさと農園における指定管理者年度評価に関する事項です。事務局より説明をお願いいたします。

【農政課長】 それでは、ふるさと農園について説明をいたします。

インデックスふるさと1、令和2年度指定評価管理者年度評価シートをお願いいたします。

1、公の施設の基本情報ですが、施設名称は千葉市ふるさと農園です。条例上の設置目的は、農林業に対する市民の理解を深めるとともに、憩いの場を提供し、農林業の振興に寄与することを目的としております。ビジョン、ミッション、制度導入により見込まれる効果は記載のとおりです。成果指標は、諸室利用者数と利用者満足度で、数値目標は諸室利用者数が年間1万3,000人以上、利用者満足度は90%以上です。

2、指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名は株式会社塚原緑地研究所です。指定期間は平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間です。選定方法は公募です。管理運営費の財源は指定管理料及び諸室の利用料金収入です。

3、管理運営の成果実績ですが、令和2年度の諸室利用者数は7,175人、達成率は55.2%、

利用者満足度は95.3%で、こちらの達成率は105.9%になります。

2ページをお願いいたします。4の収支状況は、令和2年度の実績額で御説明いたします。

(1) 必須業務収支状況ですが、ア、収入は指定管理料3,177万2,000円、利用料金収入38万3,000円、その他収入49万円の合計3,264万5,000円です。イの支出ですが、人件費が1,578万5,000円、事務費、管理費が774万4,000円、委託費が693万5,000円、間接費283万円の合計3,329万4,000円です。実績額と計画額の差異の要因は、人件費の増は病欠により、欠員の補充による増です。こちらは職員が1人長期入院しまして、正規職員を補充した分でございます。事務費、管理費の減はコロナ禍により教室運営費の減によるもの、委託費の減は植栽管理の経費節減によるものでございます。

3ページをお願いいたします。(2) 自主事業収支状況ですが、ア、収入は自主事業収入214万1,000円となります。イ、支出ですが、人件費は114万7,000円、事務費、管理費14万9,000円、使用料43万6,000円、事業費180万円で合計353万2,000円です。収支状況ですが、必須業務と自主事業を合わせた総収入は3,478万6,000円、総支出は3,682万6,000円、収支は204万円の赤字となっております。

5、管理運営状況の評価の(1)から(3)でございますが、こちらは後ほど説明させていただきます。

続きまして、4ページ下部をご覧ください。(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見を踏まえた対応ですが、昨年度では特に高い利用者満足度を得ているが、収支について改善を図るべき状況であることから、事業の効率化を図るとともに施設の魅力を高め、来場者数を増やすなど工夫を講じられたいと御意見をいただいております、その対応として、新たにふるさとカフェをオープンさせたほか、市民農園における作付計画を充実させ、利用者満足度を高め、市民農園の契約継続につながる取組を実施したなど、来場者を増やす取組を図りました。

5ページをお願いします。6、利用者ニーズ・満足度等の把握につきましては記載のとおりで、アンケート調査で155人の回答をいただき、結果の8の満足度を見ますと、おおむね好評をいただいている状況です。

次に、先ほど飛ばしました、5、管理運営状況の評価の(1)から(3)について御説明をいたします。こちらのほうは、インデックスふるさと2のA3の紙をお願いいたします。

初めに、5(1) 管理運営による成果、実績ですが、諸室利用者数については、1万3,000人以上の目標に対し、7,175人の利用があり、達成率55.2%でしたが、緊急事態宣言に伴い臨時休館したことや、都市エリアの供用時間を短縮したことなどの新型コロナウイルス感染拡大の影響を総合的に判断し、市の評価はCとしました。そういった中でも、利用者満足度については満足度90%の目標に対し95.3%であり、達成率105.9%でしたので、市の評価はBとしました。

次に、5の(2) 市の指定管理費縮減への寄与については提案額と同額となったため、評価はCといたしました。

5の(3) 管理運営の履行状況ですが、年に2回モニタリングを行い、その結果を基

に、各項目において市の評価を行っております。こちらの細かい評価結果については、対照一覧のほうに示しておりますが、モニタリング確認結果を点数化し、その点数の合計において、平均値がゼロのものはCとして評価しているものです。事業者の自己評価が、利用者数減を勘案し、1つDとなっておりますが、市としては、コロナ禍に対する対応を総合的に考え、その箇所を含め、ふるさと農園の評価は7つ項目全てをCといたしまして、おおむね管理の基準、事業計画等に定めた水準どおりに管理が行われていると評価しました。

各評価項目の中で特筆すべき点について申し上げます。2ページ、評価項目、エ、労働条件の確保については、初年度、社労士による審査を必ず受けなければなりません。この審査によるそもそもの不備を修正しました。具体的には、就業規則のところに育休の欠如とか有期雇用の無期転換に関する条項が欠如していましたので、就業規則を修正したものでございます。4ページの評価項目3、施設の効用の発揮(1)、5ページ(3)施設における事業の実施、①のア、6ページ②、ア、栽培指導つき市民農園、その下のイ、ふるさと茶屋、その2つ下のエ、バーベキューについてはコロナ禍の影響を直接受けておりまして、自主事業は全体的に苦しい状況でございました。

続きまして、8ページ、7の総括に移ります。(1)指定管理者による自己評価ですが、総括評価をCとした上で、所見としましては、利用者数が大幅に減少となりましたが、利用者満足度達成率は市の目標に対して105%を達成した。申し訳ございません。108%は記載の誤りでございまして、修正をお願いいたします。105%と非常に高い満足度を得ることができたが、正しいです。そのほか、施設管理業務、維持管理業務及び経営管理業務については、おおむね計画どおり実施することができたとしております。こちらはインデックス7、こちらはページを振っているんですけど、14ページ、2の自己評価基準を市の評価に置き換えております。こちらも独自の評定をしております、Sが市でいうA、Aが市でいうBとなっております。市でいうE判定はございません。

次に、インデックスふるさと2の8ページにお戻りください。(2)市による評価です。市の各項目は評価をまとめたものですが、右側でございます集計表の集計Bの個数は1で10%になります。Cの個数は9で90%です。この数によりまして、市の総括評価の目安は、市の評価項目のBが20%以下で、かつ市の評価項目にEがないということで、評価はCとなります。

市の所見ですが、施設管理業務については、おおむね事業計画どおり実施、利用者満足度は数値を上回ったものの、諸室利用者数は数値目標に対して約55%、コロナ禍の影響を考慮しますと、おおむね水準に即した良好な管理運営を行っている。ただし、自主事業を中心に収支についての改善、事業の効率化を図るとともに魅力を高める来場者数を増やし、工夫を講じられたいとしております。

お手元のA4の別紙を御覧ください。(3)経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見の案でございますが、事務局(案)では、おおむね事業計画どおりの事業運営が行われている。利用者満足度は目標数値を上回っているが、自主事業を中心に収支について改善を図るべき状況であることから、事業の効率化を図るとともに、施設の魅力を高め、来場者数を増やすなどの工夫を講じられたいとしました。

以上でふるさと農園の説明は終わりますが、こちらのほうは、ふるさと農園の様子はお手元の資料に、白黒で見づらいのですが、施設の写真が少し載っておりますので、御確認をいただければと思います。写真は、インデックスふるさと7、事業報告書の21ページに、載っております。

説明は以上になります。

【部会長】 ありがとうございました。

ただいまの説明と意見の事務局（案）につきまして、質問、御意見ありましたらお願いいたします。委員、お願いします。

【委員】 おおむね事業計画どおりの事業運営を行われているということですのでけれども、諸施設の利用料等の状況を見ますと、コロナの影響を受けておりますので、その旨を加えたほうがよろしいのではないかと思います。

【農政課長】 ありがとうございます。

【部会長】 お願いします。そのほかいかがでしょうか。委員、お願いします。

【委員】 ここのふるさと農園のコンセプトが、昔なのか今なのか、これからなのか混在しているんです、やっていることが。施設を漠然と中に入りますと、展示ももう少し工夫していただきたいというのが、ございます。例えば本であったり、農機具であったり、少し残念なところが散見されるんです。一方では、新しい取組もすごく評価すべき、例えば昆虫を展示して子供たちが見たり、バーベキューであるとか農家カフェですか、いろいろな取り組みを行っている。その辺の整理と言いますか、全部出すことは予算的に難しいと思うんです。ですから、その落としどころを検討すべきではないかと、そろそろ。あのままの形では、新しいものを入れるのはもちろん必要だと思います。子供たちのための。また、コロナ禍のニーズというのもまさにあると思うんです。反対に富田の耕園が示すように。逆に内向きの中で、コロナ禍の屋内での過ごし方もあると思いますので、それを課題と言いますか、期待し、ぜひ要望したいと思います。

本当に顧客満足度は何をもって満足しているのかというのが、わかりません。一生懸命職員の方が努力してやられているのはもちろん分かります。予算がなければ予算を投入すべきだと思います。ふるさと農園に関しては、もったいないという気がします、施設があるのに。

【農政課長】 御意見ありがとうございます。我々もふるさと農園の役割については、検討しなければいけないという議論が挙がっております。次期5年に関しては、まだ少し時間がありますので今回の意見を踏まえて議論しながら、次期に反映させていきたいと考えております。

以上でございます。御意見ありがとうございました。

【部会長】 恐らく千葉市への意見という形になってしまっていますよね。私も展示物のコンテンツはもう古いので、ああいうものも含めてビジョンの見直しから含めて、抜本的に検討していくのがいいかと思っています。

【農政課長】 次期の5年に反映させて考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

【部会長】 それを指定管理者に言ってもしんどい部分はあるかもしれませんが。

【農政課長】 これは我々のほうで考えていくことになると思います。

【部会長】 そのほかいかがでしょうか。

【委員】 数値目標を上回っているというのは、もう少し分かりやすくなりませんか。満足度は1つか2つでもいいですから、具体的に何か項目を挙げて、何々を中心に、これがあるから数値目標が恐らく上がってきているんだらうということは、何があそこで言えますかね。アンケートもそれはあるでしょうけど。

【農政課】 利用者満足度は、実は昨年度も比較的高い水準でして、特にこれというよりは、総じてアンケートの中から高い満足度をいただいているというところなんです。この取組がというか、全体としてというところなんです。具体的にするとすると、利用者満足度は達成率105.9%でということの数値を具体的に入れることはできるかなというところなんです。

【部会長】 もう少しアンケートの取り方を精緻にして、何が悪いのか、何がよかったのかというのを把握して、PDCAを回せるようにしていく、そして全然違う評価もできます。このアンケートを見る限りは。

そのほかいかがでしょうか。

【農政課】 ふるさと7の9ページです。自主事業の市民農園がございまして、特徴として、初心者でも安心して始められる栽培指導付き市民農園ということで書いてございまして、この辺を引用しながら委員の意見に反映するのはいかがでしょうか。

【委員】 それでいいんじゃないですか。だから、普通の市民農園じゃなくて、初心者でもとか具体的に、一応書いてみて、また委員の意見は直せるので。

【農政課】 このような形で具体的例を付けまして、好評であり、数値目標を上回っている。

【委員】 「でも」位かな。あまり言い切っちゃうのも。

【農政課】 好評でも。

【委員】 はい、それだけじゃないと思うので。

【部会長】 一旦、法人の財務状況のほうに移らせていただきます。同じように、不開示情報で、ここからの会議は非公開ということにさせていただきます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

【部会長】 財務状況についての協議についてはこれで終了したいと思います。

それでは、最終的に意見をまとめていきたいと思います。

【委員】 これ、語呂が悪いので、「上回っている」で一旦切りませんか。「数値目標を上回っている」と。

【部会長】 それは資料から言えるのでしょうか。

【農政課】 ふるさと7の事業報告書の9ページに自主事業の実施状況に関する事項というところがございまして、ここの(1)の市民農園の事業概要に、特徴として、「初心者でも安心して始められる栽培指導付き市民農園」ということでうたってございます。

【部会長】 分かりますけど、それが満足度が「上回っている」というのは言えないのではないかと思います。そうだと思うんですけど、あくまでも推察であってそう

でなかったらどうなんですか。好評であるということではいいんじゃないでしょうか。だから「満足度」を取って、「好評であることは評価できる」ぐらいにしておいたらどうでしょうか。

【農政課】 ありがとうございます。

【部会長】 「利用者満足度」と「数値目標を上回っている」は取るか取らないか分からないですけど、事実は事実ですよ。取っていいのではないですか。

【委員】 具体的で分かりやすかったです。

【部会長】 そのほかいかがでしょうか。

では、・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、適正な事業運営が行われている。・初心者でも安心して始められる栽培指導付き市民農園等が好評であることは評価できる。一方で、自主事業を中心に、収支について改善を図るべき状況であることから、事業の効率化を図るとともに施設の魅力を高め、来場者数を増やす工夫等を講じられたい。最終的にこの案でよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【部会長】 ありがとうございます。それでは、この意見として決定させていただきます。ありがとうございました。

意見の取りまとめはこれで終了となります。続きまして、議題の6、非公募の方法による指定管理予定候補者の選定に係る、会議の非公開についての審議に入らせていただきます。事務局より説明をお願いいたします。

【農政課長】 御説明させていただきます。

令和3年7月13日に開催された第1回千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会の議題、(4)非公募の方法による指定管理予定候補者の選定等に係る会議の非公開についてで、今後の運営として、非公募の方法による選定を行う年度の各部会の第1回の会議で決定することが決定しました。今年度10月に開催を予定している第2回農政部会において、非公募による富田さとしにわ耕園の指定管理予定候補者の選定に関する事項の審議を予定しておりますので、第1回農政部会において、部会長により決定していただくことになります。

参考資料2を御覧ください。千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成についてになります。

1、会議の公開の取扱い、(1)を御覧ください。(1)千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会の会議は公開とする。ただし、公募の方法により、指定管理者予定候補者を募集する場合における募集条件、審査基準及び指定管理予定候補者の選定に関する事項を審議する会議は非公開とすると記載があり、指定管理者選定評価委員会の会議は公開が基本ですが、指定管理予定候補者を公募の方法により募集する場合、選定過程において、法人ノウハウ等の不開示情報を取り扱うことが想定されることから、会議を非公開とすると定めたものです。非公募の方法による選定においても、公募施設と同様に審議過程に情報公開条例第7条第3号に定める不開示情報が含まれるため、(2)前号ただし書に定めるもののほか、会議の全部、または一部を非公開とする必要がある場合における当該会議の全部、または一部を非公開とする旨の決定は会長が行うとの記載のと

おり、非公開の決定を会長が行うこととしております。

説明は以上でございます。

【部会長】 ありがとうございました。

ただいまの事務局の説明のとおり、非公募の方法による選定であっても、公募施設と同様に不開示情報が含まれているために、第2回の農政部会としては非公開が妥当と考えるということです。御質問とか御意見ありましたらお願いいたします。

ないようでしたら、議題6番につきまして、会議の非公開を決定するということではよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【部会長】 異議なしということで、議第6につきましては、会議の非公開を決定するということにさせていただきます。

それでは、最後ですけれども、報告事項、今後の審議予定について事務局より説明をお願いいたします。

【農政課長補佐】 長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。

今後の流れについて御説明いたします。今回、御審議いただきました年度評価、総合評価につきましては、委員会より市へ答申をいただきます。答申を踏まえ、年度評価シート、総合評価シートについては本市ホームページで公表いたします。

なお、先ほども御説明しましたとおり、今年度は指定期間の最終年度であり、次期指定管理予定候補者の選定を行う必要があることから、10月頃に部会を開催する予定でございます。10月頃の第2回の部会では、次期指定管理予定候補者の選定等について御審議いただき、委員会より市へ答申をいただく予定でございます。なお、次期指定管理者の選定方法や次期指定期間については庁内において検討している状況でございますので、決まり次第、改めて御説明いたします。答申を踏まえ、市として指定管理予定候補者を決定し、仮協定を締結した後、12月の市議会第4回定例会において、指定議案及び債務負担行為の設定を提出いたします。市議会の議決後、指定管理者を指定し、基本協定書を締結、令和4年度より新指定管理者による管理が開始となる予定でございます。

なお、第2回の部会の開催日については、近日中に委員の皆様の御予定を照会いたしますので、御回答のほどよろしくをお願いいたします。

説明は以上でございます。

【部会長】 ありがとうございました。本日予定されていましたが案件は以上となります。

なお、本日部会として決定いたしました意見の文言の整文等につきましては、私に御一任ください。

円滑な御審議に御協力いただきまして、大変ありがとうございました。それでは、事務局に進行をお返しいたします。

【農政課長補佐】 ありがとうございます。

委員の皆様、お疲れさまでございました。

事務連絡を申し上げます。

まず、本日の議事録を作成する関係でございますが、後日、皆様に内容の御確認をお

願いする予定でございます。案を作成次第、事務局より連絡をいたしますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

本日、予定時間を少し超えてしまいましたが、これで、以上で本日の会議を終了いたします。長時間にわたり大変ありがとうございました。